

WG1補足資料②

～「労働安全衛生」の実態把握～

2021年3月

公益財団法人 日本適合性認定協会
JABマネジメントシステム研究会

WG1メンバー 河野 直(慶應義塾大学)
金子 雅明(東海大学)
山田 秀(慶應義塾大学)

©2021 JAB

自己紹介



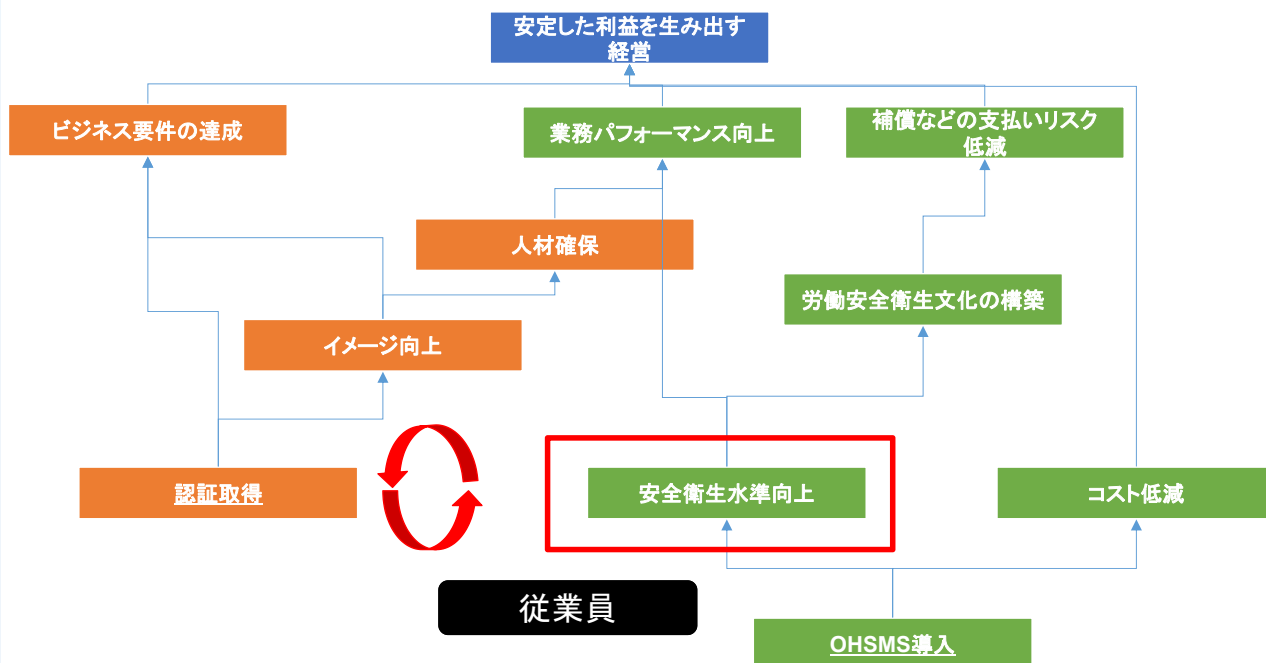
- 名前:河野 直 (こうの なおき)
- 所属:慶應義塾大学大学院理工学研究科
- 職位:学生
- 研究室:山田研究室
- 所属学会
 - 日本品質管理学会
- 外部活動
 - 2019年度JAB/MS研究会WG1メンバーとして、ISO 14001の調査を担当
 - 2020年度JAB/MS研究会WG1メンバーとして、労働安全衛生マネジメントシステム認証の調査を担当



経営への効果の因果モデル（概略図）



提供組織



©2021 JAB

3

アンケート調査内容(労働安全衛生)

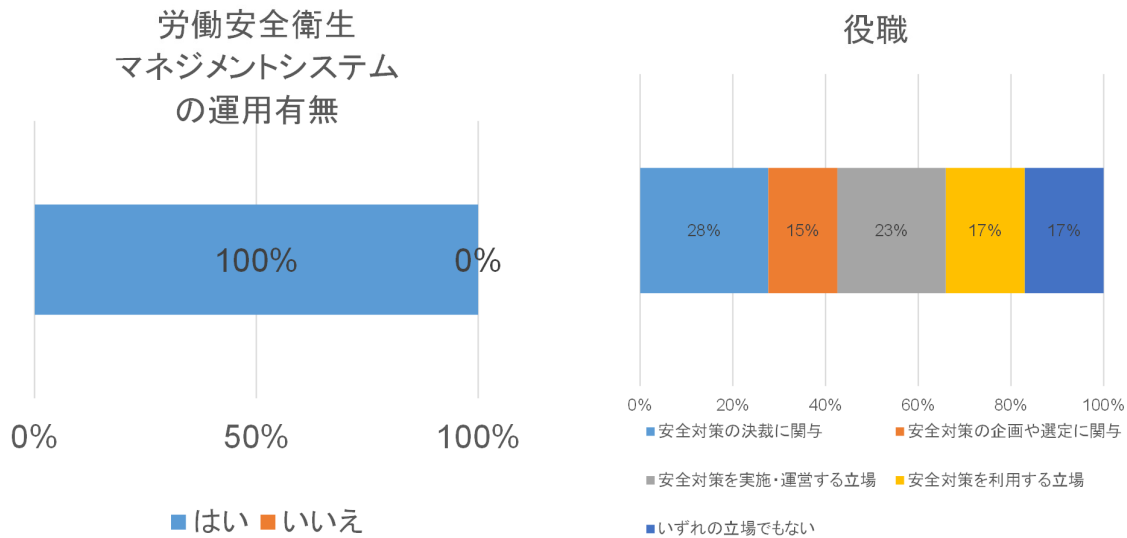


- Q5. 労働安全衛生MSの導入当初、意図していた効果
- Q6. 労働安全衛生MS導入の現在の効果
- Q7. 労働安全衛生MS導入の、現状を踏まえて強化したい効果
- Q8. 「労働衛生水準が向上する」の詳細効果についての、導入当初、意図していた効果
- Q9. 「労働衛生水準が向上する」の詳細効果についての、現在の効果
- Q10. 「労働衛生水準が向上する」の詳細効果についての、現状を踏まえて強化したい効果
- Q11. 安全衛生活動の効果が意図通りに得られない理由
- Q12. Q10で強化したいと回答した方で、今後実施したいと思っている具体的な活動
- Q13. 労働安全衛生MSの認証(能力証明)の活用状況
- Q14. 働き方改革等との関係性
- Q15. 認証取得した理由
- Q16. 認証取得しない理由

©2021 JAB

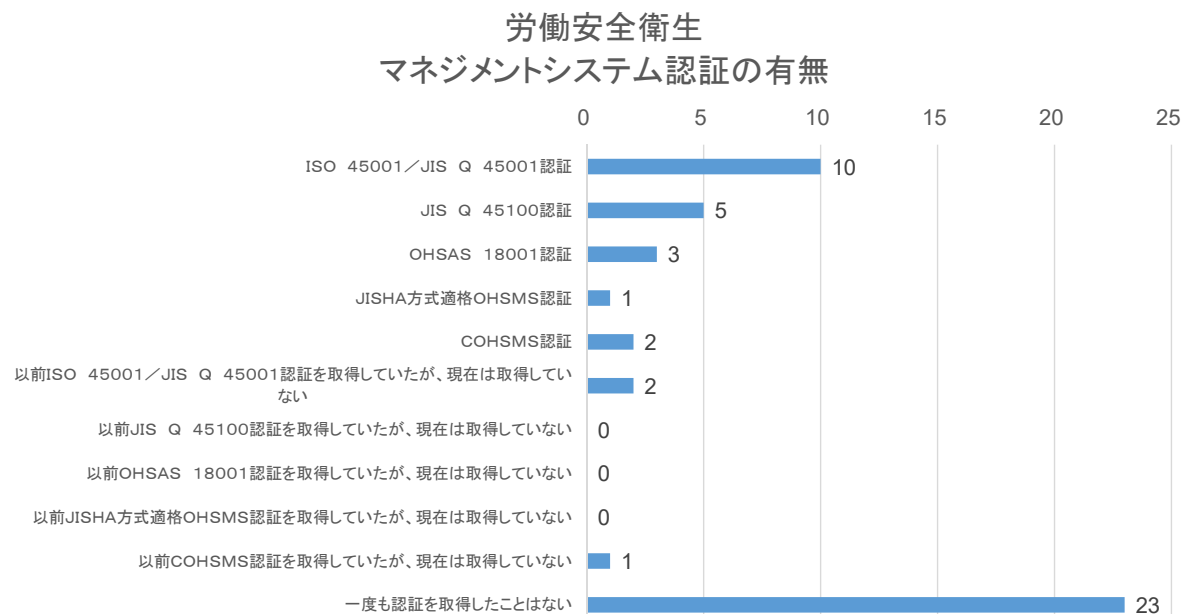
4

調査対象の属性①



本調査の対象は、「労働安全衛生マネジメントシステムを運用している企業の安全衛生担当者」47名。

調査対象の属性②

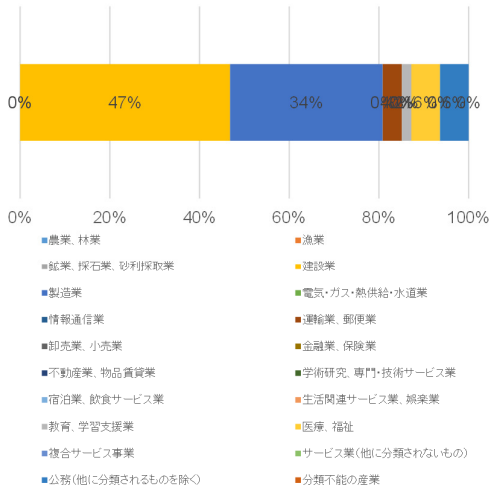


認証取得企業が21サンプル、認証未取得企業が26サンプル

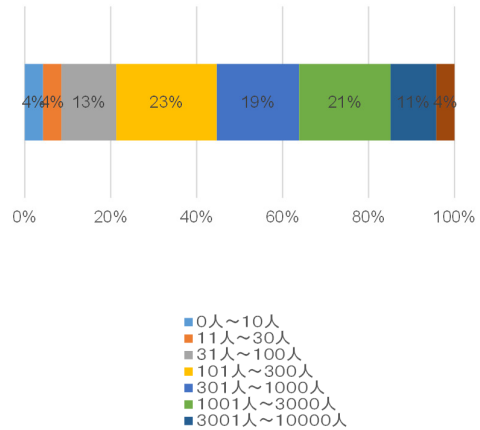
調査対象の属性③



業界

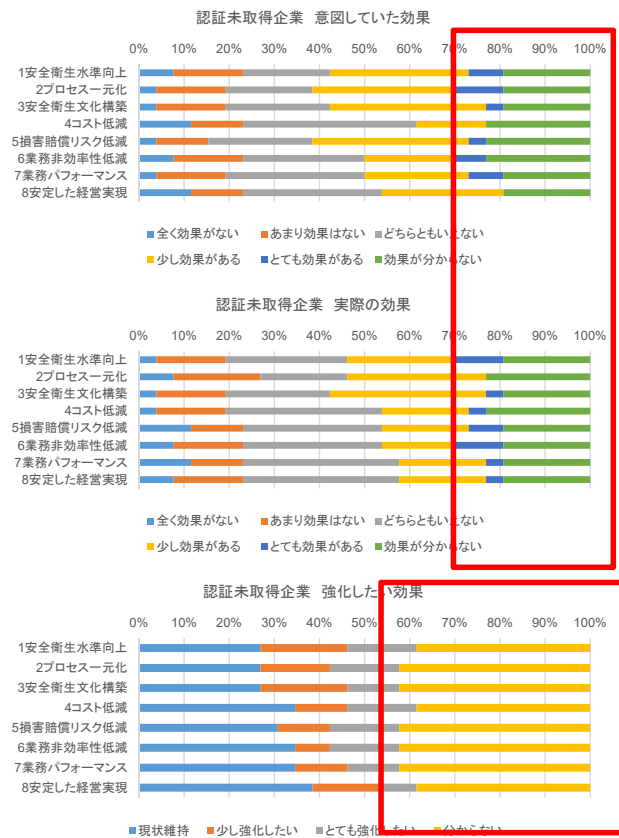
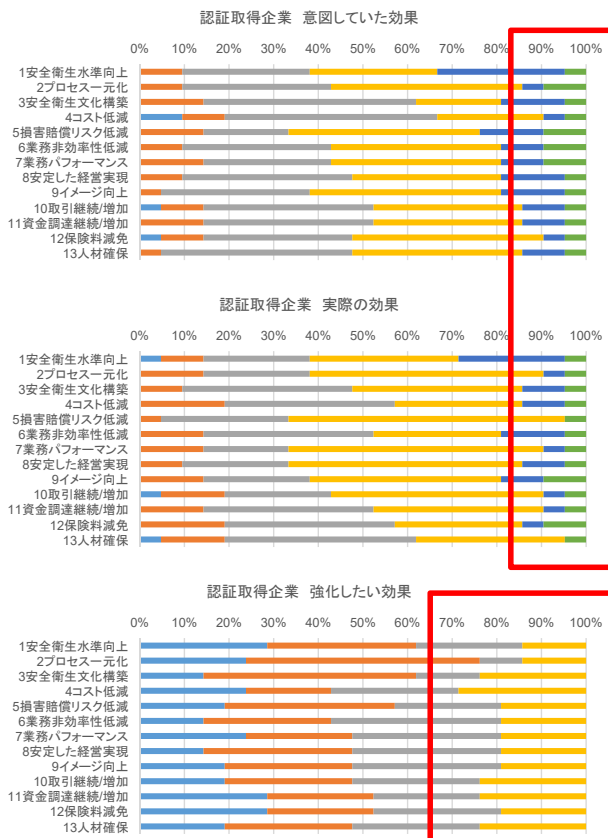


企業規模



業界は建設業と製造業の割合が高い。企業規模や幅広い。

因果モデルに基づく各効果(Q5,6,7)

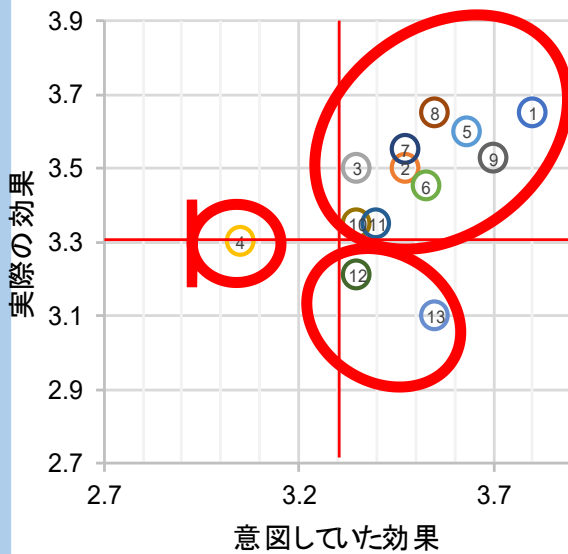


意図していた効果(Q5)と実際の効果(Q6)



認証取得企業

※「分からない」を除いた5段階評価の平均値



- 1安全衛生水準向上
- 2プロセス一元化
- 3安全衛生文化構築
- 4コスト低減
- 5損害賠償リスク低減
- 6業務非効率性低減
- 7業務パフォーマンス
- 8安定した経営実現
- 9イメージ向上
- 10取引継続/増加
- 11資金調達継続/増加
- 12保険料減免
- 13人材確保

○全体として、多くの効果を意図し、それ以上に効果が出ている。特に、「①安全衛生水準向上」、「⑤損害賠償リスク低減」、「⑧安定した経営実現」、「⑨イメージ向上」

○意図したが、思ったように効果が出ていなかったのは、「⑫保険料減免」と「⑬人材確保」

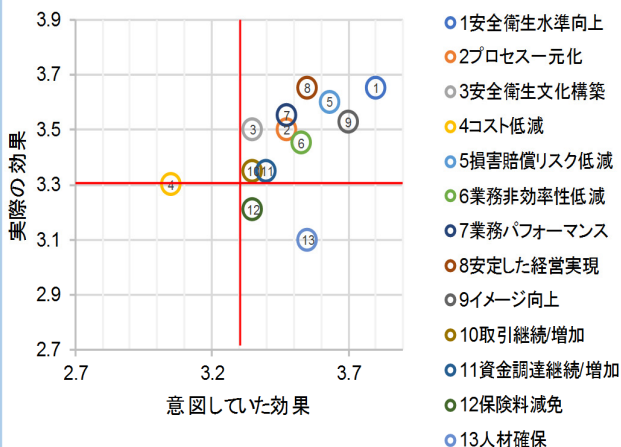
○意図していなかったが、効果がそれなりに出たのが、「④コスト低減」

認証取得企業と未取得企業の効果の比較



認証取得企業

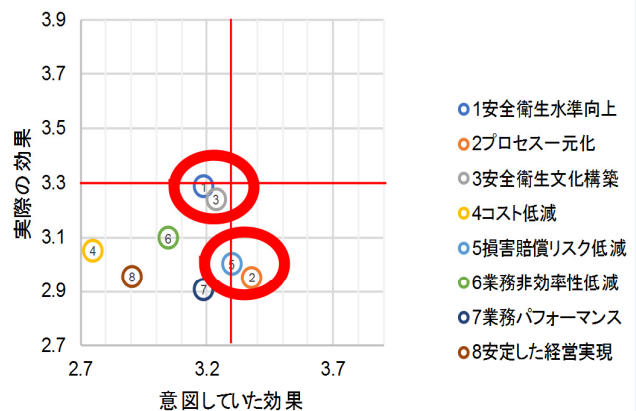
※「分からない」を除いた5段階評価の平均値



- 1安全衛生水準向上
- 2プロセス一元化
- 3安全衛生文化構築
- 4コスト低減
- 5損害賠償リスク低減
- 6業務非効率性低減
- 7業務パフォーマンス
- 8安定した経営実現
- 9イメージ向上
- 10取引継続/増加
- 11資金調達継続/増加
- 12保険料減免
- 13人材確保

認証未取得企業

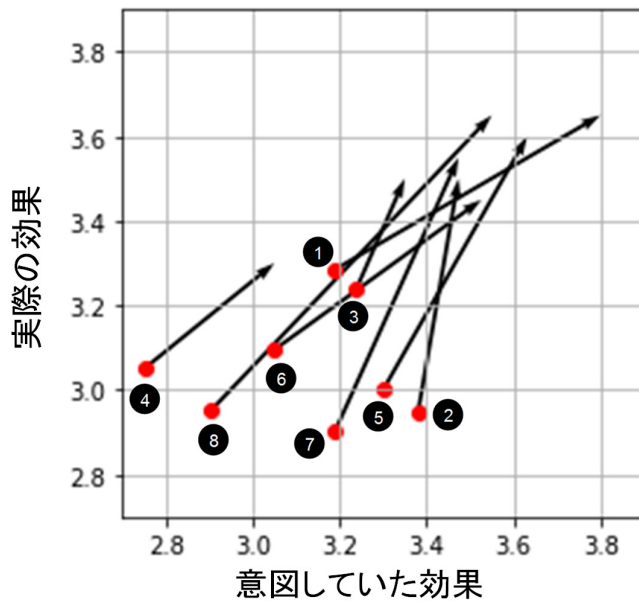
※「分からない」を除いた5段階評価の平均値



- 1安全衛生水準向上
- 2プロセス一元化
- 3安全衛生文化構築
- 4コスト低減
- 5損害賠償リスク低減
- 6業務非効率性低減
- 7業務パフォーマンス
- 8安定した経営実現

- 全体的に、認証取得企業の方が意図していた効果が多く、実際に高い効果も得られている(認証の有無以外の要因の影響の可能性あり)。
- 未取得企業において、意図していたが効果が思っていたよりも得られなかったのは「②プロセス一元化」、「⑤損害賠償リスク低減」。意図通りの効果がある程度得られているのが、「①安全衛生水準向上」、「③安全衛生文化構築」である。

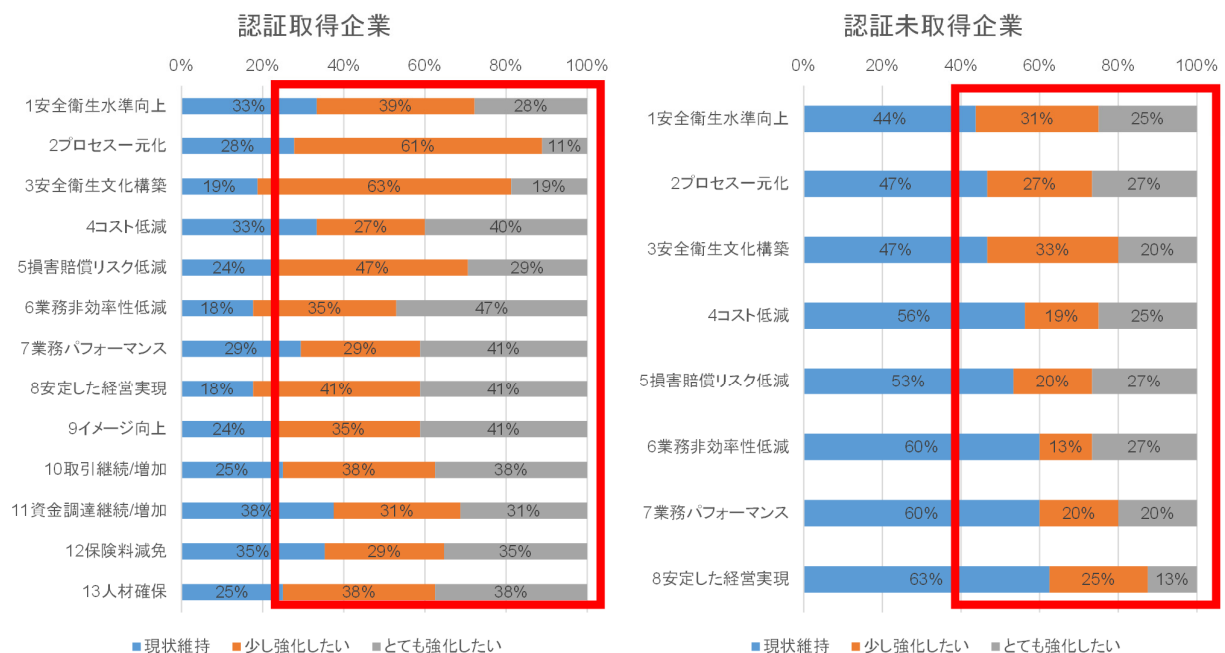
認証取得企業と未取得企業における各効果の違い



項目	長さ
①安全衛生水準向上	0.71
②プロセス一元化	0.56
③安全衛生文化構築	0.28
④コスト低減	0.39
⑤損害賠償リスク低減	0.69
⑥業務非効率性低減	0.59
⑦業務パフォーマンス	0.70
⑧安定した経営実現	0.95

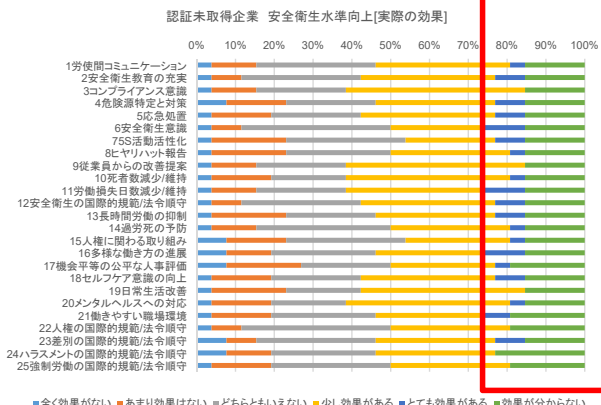
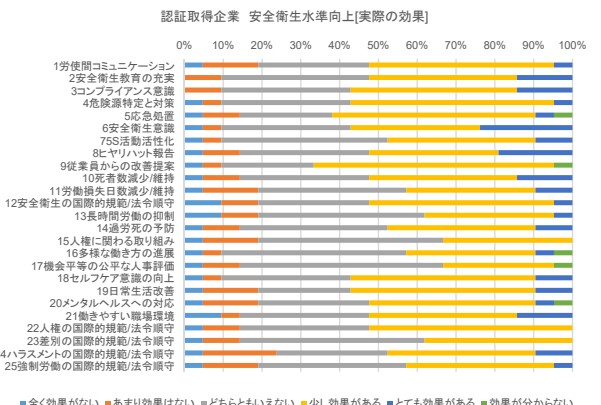
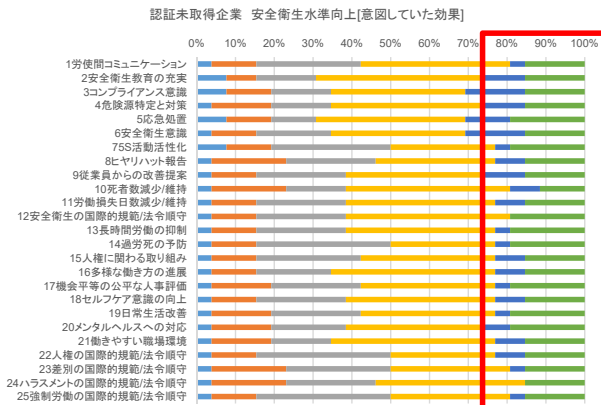
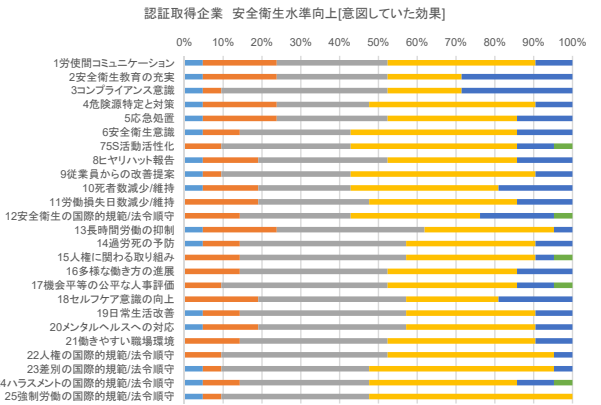
- ・「⑧安定した経営実現」を始め、「⑤損害賠償リスク低減」、「⑦業務パフォーマンス」など、因果モデルの上側部分(結果系)が大きく伸びている。この部分は、労働安全衛生の各取り組みによって得られる結果であり、認証取得企業ほど安全衛生を改善する先まで見据えていることができる。

Q7.現状を踏まえて強化したい効果



- ・ 認証取得企業の方が「少し強化したい」「とても強化したい」が多く、効果をさらに得ようとする意識が強い。(取得企業は約75%、未取得企業では約49%)
- ・ 両方ともに、「②プロセス一元化」の効果に取り組もうとしている企業が多い

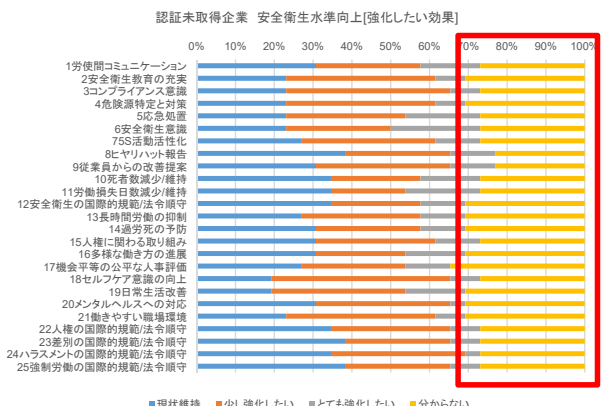
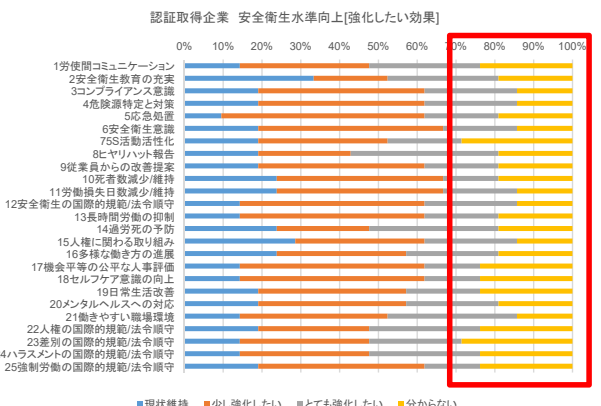
安全衛生水準向上の詳細な効果(Q8~12)



■全く効果がない ■あまり効果はない ■どちらともいえない ■少し効果がある ■とても効果がある ■効果が分からない

■全く効果がない ■あまり効果はない ■どちらともいえない ■少し効果がある ■とても効果がある ■効果が分からない

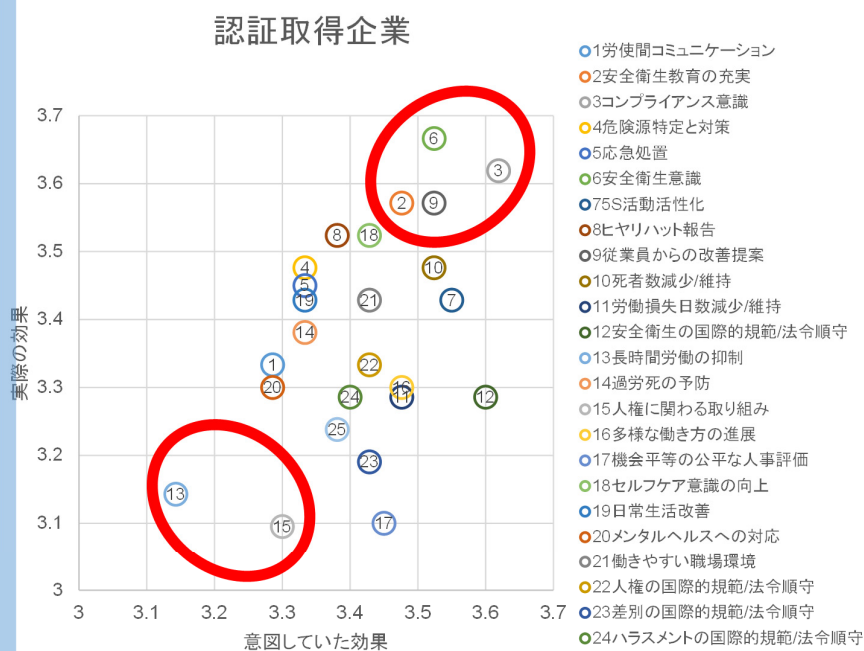
マネジメントシステム/認証の効果(Q8~12)



■現状維持 ■少し強化したい ■とても強化したい ■分からない

■現状維持 ■少し強化したい ■とても強化したい ■分からない

労働安全衛生水準の向上の意図した効果(Q8)と実際の効果(Q9) ※認証取得企業のみ

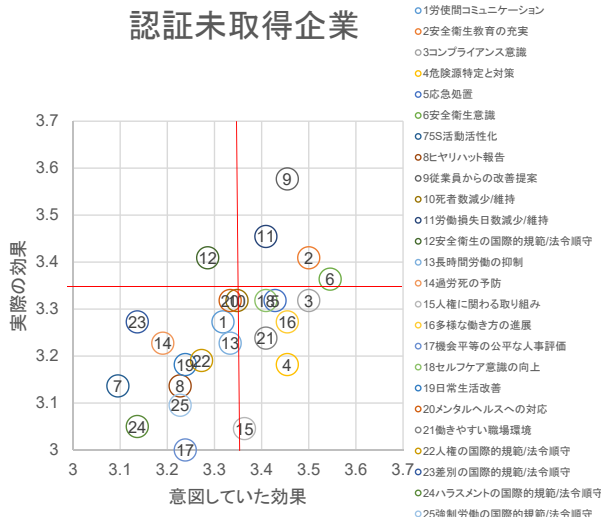
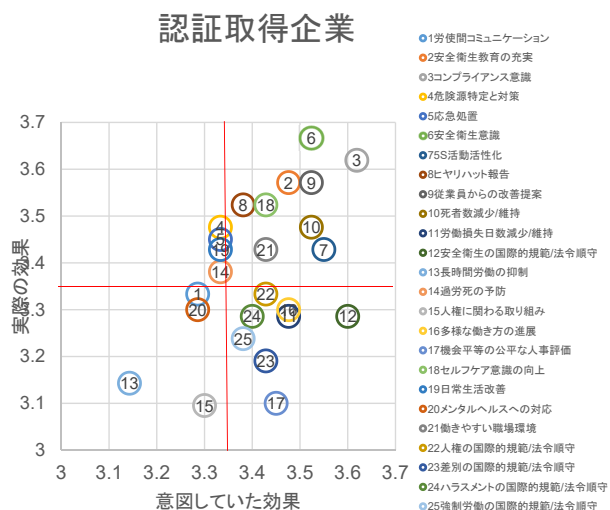


○「③コンプライアンス意識」、「⑥安全衛生意識」など意識の部分、「②安全衛生教育の充実」、「⑨従業員からの改善提案」の体制部分が特に意図も大きく、実際に効果を得られている。

○逆に、意図も効果も低いのは「⑬長時間労働の抑制」や「⑮人権に関する取り組み」など労働衛生に関わるものが多い。

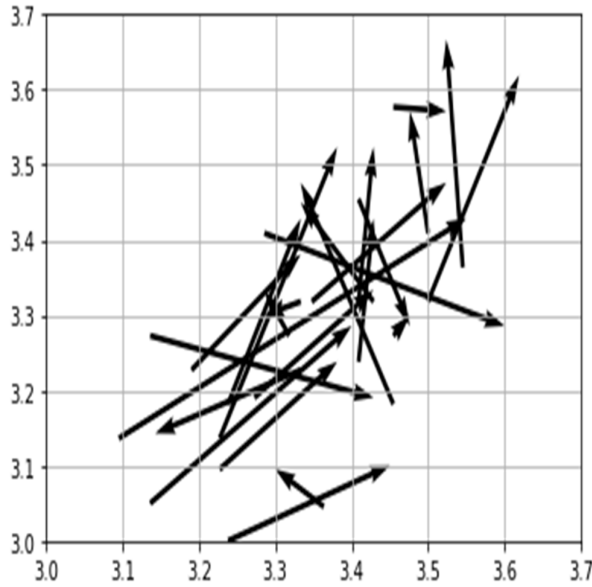
©2021 JAB

認証取得企業と未取得企業の効果の比較



• 全体的に、認証取得企業の方が「意図していた効果」も「実際の効果」も大きい傾向がある。

認証取得企業と未取得企業における各効果の違い



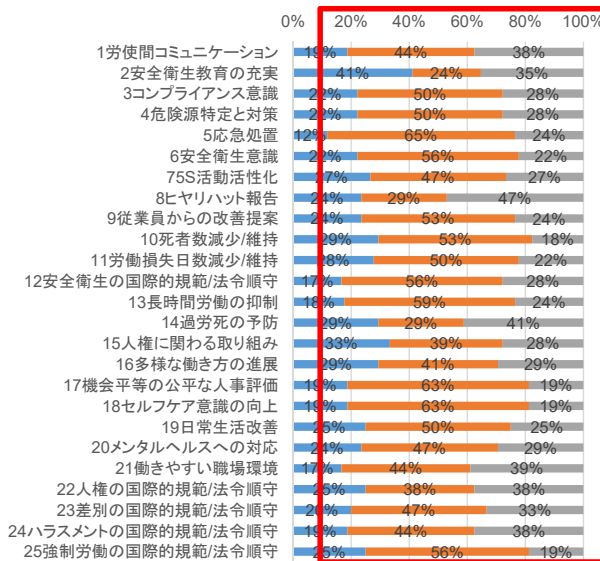
	length
1 労使間コミュニケーション	0.068755
2 安全衛生教育の充実	0.164075
3 コンプライアンス意識	0.323563
4 危険源特定と対策	0.318351
5 応急処置	0.162623
6 安全衛生意識	0.303803
7 5S活動活性化	0.540549
8 ヒヤリハット報告	0.416811
9 従業員からの改善提案	0.069483
10 死者数減少/維持	0.23651
11 労働損失日数減少/維持	0.181676
12 安全衛生の国際的規範/法令順守	0.337635
13 長時間労働の抑制	0.208344
14 過労死の予防	0.209822
15 人権に関わる取り組み	0.080795
16 多様な働き方の進展	0.034818
17 機会平等の公平な人事評価	0.234315
18 セルフケア意識の向上	0.206549
19 日常生活改善	0.264494
20 メンタルヘルスへの対応	0.050972
21 働きやすい職場環境	0.19147
22 人権の国際的規範/法令順守	0.211413
23 差別の国際的規範/法令順守	0.303562
24 ハラスメントの国際的規範/法令順守	0.353645
25 強制労働の国際的規範/法令順守	0.209822

- 特に大きく伸びたのは「⑦5S活動活性化」「⑧ヒヤリハット報告」である。
- 「⑬長時間労働の抑制」は認証取得企業の方が低い。「意図していた効果」「実際の効果」の両方が低いため、そもそもマネジメントシステム認証が解決する問題として想定されていない可能性がある。

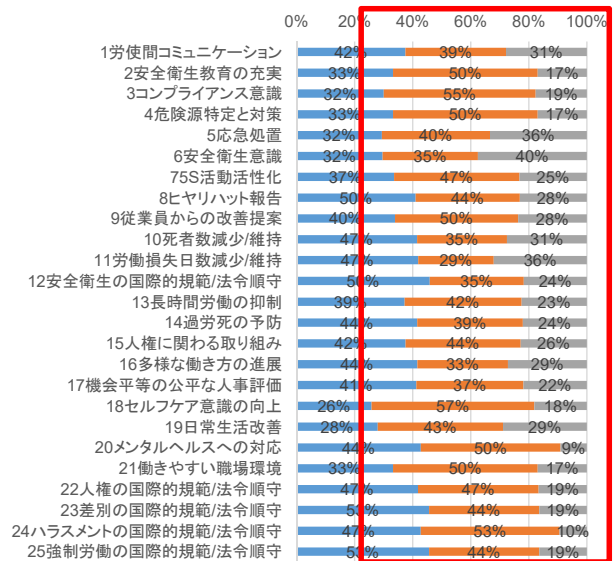
Q10.現状を踏まえて強化したい効果



認証取得企業 安全衛生水準向上[強化したい効果]



認証未取得企業 安全衛生水準向上[強化したい効果]



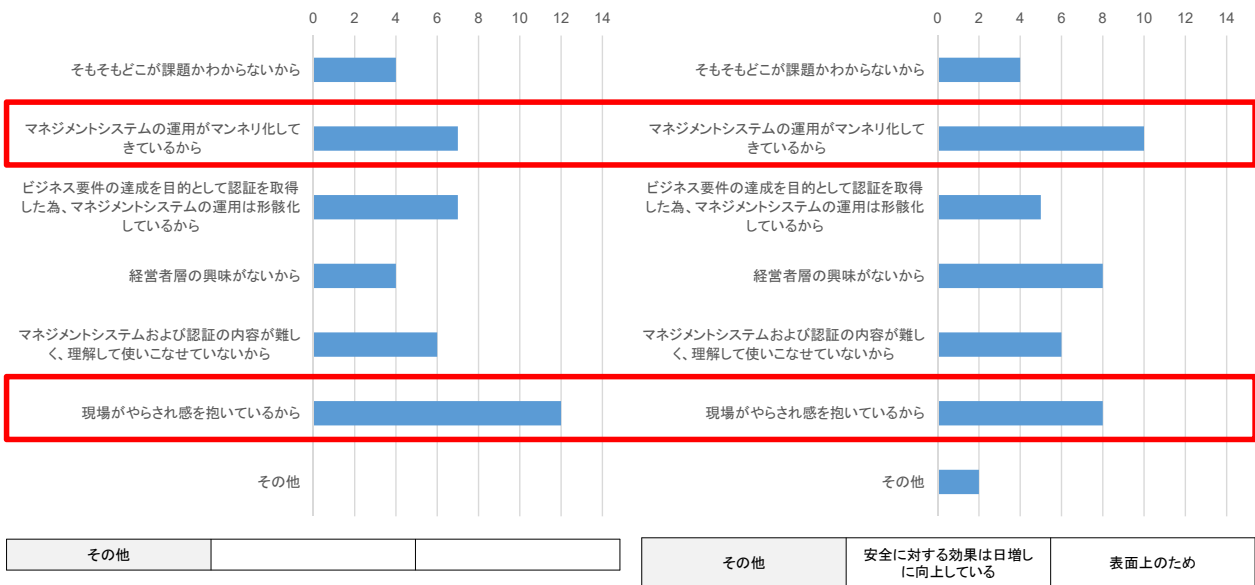
- この結果からも、認証取得企業の方が、強化意欲が高い企業が多い傾向が確認できる。

Q11.効果が実感できない理由



認証取得企業 安全衛生水準向上[効果が実感できない理由]

認証未取得企業 安全衛生水準向上[効果が実感できない理由]



その他		安全に対する効果は日増しに向上している	表面上のため
-----	--	---------------------	--------

• 効果が実感できない理由としては、認証の有無を問わず、「マンネリ化」や「やらされ感」といった主体性不足が挙げられている。

Q12 今後実施していきたい具体的な施策



認証取得企業 安全衛生水準向上[強化施策例]

認証未取得企業 安全衛生水準向上[強化施策例]

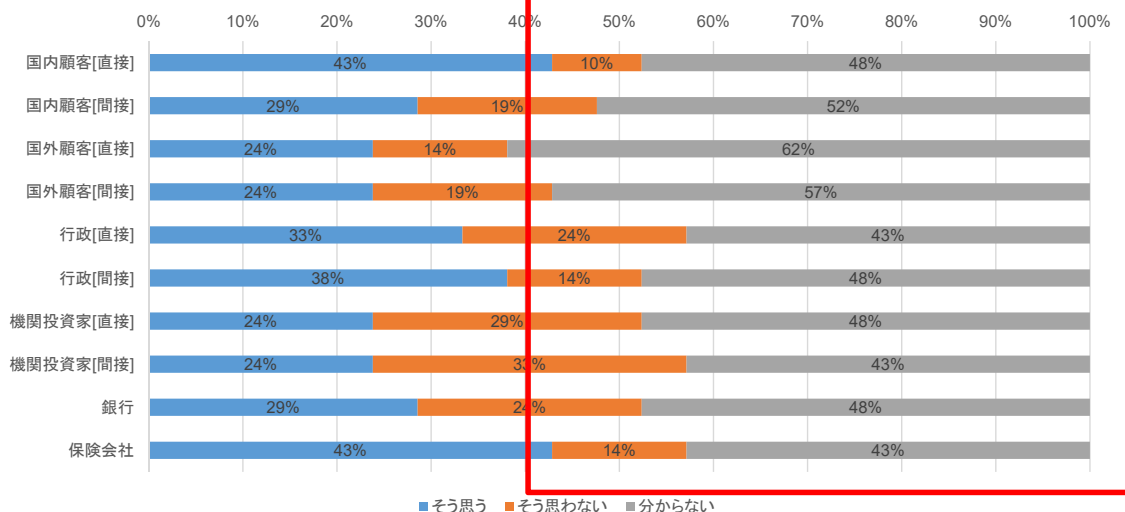
施策	実施状況	理由
1労働間コミュニケーション	主体性の育成自主性の育成	労働参加の安全衛生委員会
2安全衛生教育の充実	安全衛生委員会の充実	新CFT
3コンプライアンス意識	作業内容の改善している	特に期待なし
4危険源特定と対策	安全性を重視する対策ポイント	事故対応のシミュレーションを定期的に実施し体感させる
5応急処置		
6安全衛生意識		
75S活動活性化		
8ヒヤリハット報告	ヒヤリハット報告は奨める	ホウレンソウの徹底
9従業員からの改善提案		思いつきません
10死者数減少維持	労働災害につとめる	
11労働損失日数減少維持	不明	
12安全衛生の国際的規範/法令遵守		
13長時間労働の抑制	思いつきません	
14過労死の予防	残業を控える	思いつきません
15人権に関わる取り組み	よく話し合う週刊	
16多様な働き方の進展		
17機会平等の公平な人事評価	特になし	
18セルフケア意識の向上		
19日常生活改善		
20メンタルヘルスへの対応		
21働きやすい職場環境	ジェンダー・シフトギャップの解消とコミュニケーション能力の増進	なし
22人権の国際的規範/法令遵守	なし	
23差別の国際的規範/法令遵守	不明	
24ハラスメントの国際的規範/法令遵守		
25強制労働の国際的規範/法令遵守		

施策	実施状況	理由
1労働間コミュニケーション	アンケートを取る	経営者の安全意識の向上を強化する
2安全衛生教育の充実	工場内で起こっている自覚を共有したい	良好したい。コロナが落ち着いたら実行予定。コミュニケーション機会の増加
3コンプライアンス意識	学習機会を増やす	可成り理解できないものを理解させたい
4危険源特定と対策		
5応急処置	連絡網 すべてを明確にし指導	
6安全衛生意識	アラガの無いようにする	1日1ロールでの良い声・改善点の発表及び毎月1回行われている職員会議・安全会議・現場での防災協会の安全講習を強化している。
75S活動活性化		
8ヒヤリハット報告	事故を未然に防ぐため	
9従業員からの改善提案	現場メモの使用	報奨金制度等内容を充実させる
10死者数減少維持	危険予知トレーニングを急務とする	災害が起これば仕事ができなくなる
11労働損失日数減少維持	上記の通り(災害が起これば仕事ができなくなる)	
12安全衛生の国際的規範/法令遵守		
13長時間労働の抑制	サービス残業が推奨されているのをやめさせたい	
14過労死の予防		
15人権に関わる取り組み		
16多様な働き方の進展		
17機会平等の公平な人事評価	自己申告	
18セルフケア意識の向上		
19日常生活改善		
20メンタルヘルスへの対応		
21働きやすい職場環境		
22人権の国際的規範/法令遵守		
23差別の国際的規範/法令遵守		
24ハラスメントの国際的規範/法令遵守		
25強制労働の国際的規範/法令遵守		

Q13 認証取得企業 ビジネス要件達成の効果



認証取得企業 ビジネス要件達成としての活用

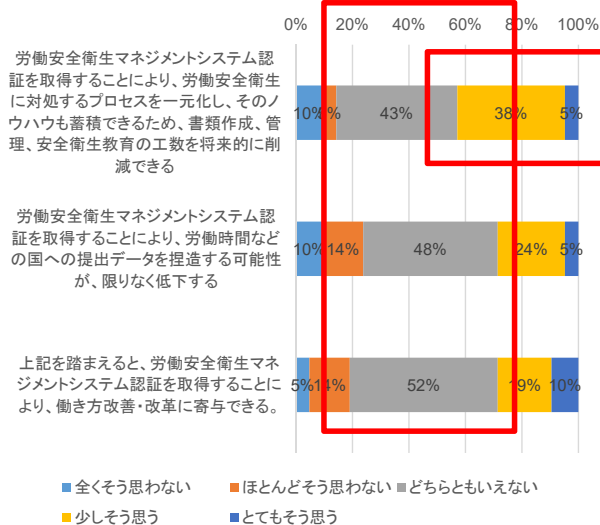


- ・「わからない」が非常に多い。安全衛生担当者の多くはビジネス要件達成としての活用状況を把握していない。
- ・上記に伴い、「そう思う」「そう思わない」の回答の信憑性も低い。

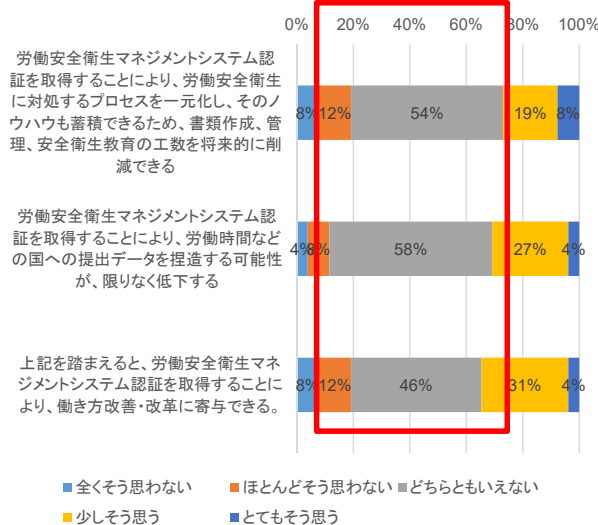
Q14 認証と働き方改革



認証取得企業 働き方改革との関係



認証未取得企業 働き方改革との関係



- ・「認証取得によって、コスト低減や捏造データ防止が行われ、働き方改革に寄与する」という仮説に対して、「どちらともいえない」という回答が大半。
- ・認証取得企業は、プロセス一元化により書類作成、管理、安全衛生教育に対する工数を将来的に削減できると、少し思っている。

認証取得の理由(Q15)



認証取得企業 認証を取得した理由



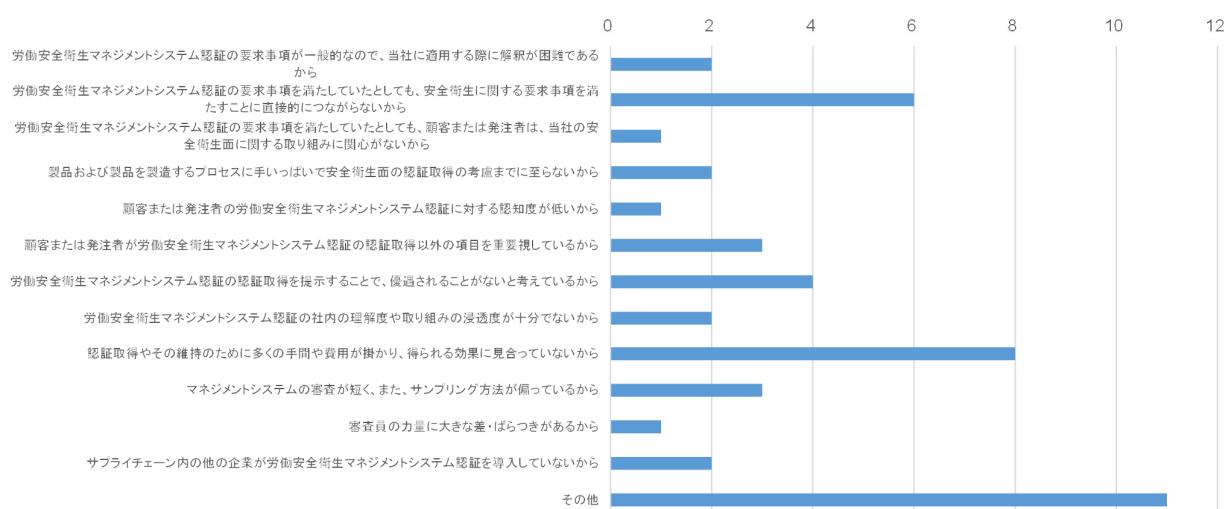
その他	わからない	周囲の流れ	親会社の意向
-----	-------	-------	--------

「ビジネス要件達成」に関連する効果以外に、「安全衛生水準向上」、「イメージ改善」を挙げている方が多い。

認証未取得の理由(Q16)



認証未取得企業 認証を取得しない理由



その他	ムリ	メリットを感じないから	わからない	関与していないのでわからない	工事現場にマッチしていない書類等が増える。労働時間の管理は認証など必要なく管理できる体制の方法がある
十分に出来ていて問題ないから	従業員がいない為	従業員に関心がないから	不明	分からない	分からない

- ・費用対効果に課題を感じている人が多い。
- ・現在のMS認証を超えた内容を顧客及び社会が要求していると考えているか、またはMS認証は枠組み提示のみであり、組織が行う必要があるすべての安全・衛生活動に直接的につながらないと考えている。